

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和2年12月16日（水）13時30分～15時20分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、横山係長、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 4名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、本年7月22日付けで申請のあった実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫架台等の設置）について、11月19日及び11月26日に実施した面談における原子力規制庁からの質問の一部に対する説明があった。
 - 架台の耐震性評価について
 - ✓ 架台の耐震性評価については、JEAG4601 に従い耐震 B クラスの共振影響を考慮した評価を実施する。
 - 今後の作業スケジュールについて
 - ✓ 大型廃棄物保管庫の設備設置などの全体スケジュールについては、現在検討及び調整中である。
 - クレーンの耐震性評価に係る計算書（案）について
 - ✓ 評価方針において、クレーンの変形や転倒によって大型廃棄物保管庫建屋及び使用済吸着塔への波及的影響を及ぼさないことについて確認する旨、評価目的を明記した。
 - ✓ 解析方法は、応答スペクトル解析を用いる旨、明記した。
 - ✓ 高力ボルトや斜材等の評価部材について、使用場所が分かるよう構造図 4-3 を追加するとともに、統一を図った。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について、以下のコメントを行った。
 - 架台に係る説明に対してのコメント
 - ✓ 以前から提示依頼している架台の構造図については、今回も新たな説明はなかった。構造解析する上で、吸着塔からの架台への荷重伝達やコンクリート基礎部との取り合い等は、実際の構造と解析モデルの整合性を確認する上で重要であるため、再度提示するよう求めた。
 - クレーンに係る説明に対してのコメント
 - ✓ 固有値解析及び解放基盤面からの地盤—大型廃棄物保管庫建屋連成地震応答解析について図 2-2 の耐震評価フローへ追記するとともに、新たに章立てを設定し固有値解析の条件など、固有値解析について説明を追加すること。
 - ✓ ガーダや浮き上がり防止爪など各部の応力計算について、解析のアウトプットをそのまま用いるものと、アウトプットから手計算するもの等、評価手順が分かるようにすること。
 - ✓ NS、EW、Z の 3 方向の解析結果を SRSS によって組み合わせる評価方法に

ついて、先行実績等も踏まえて、その妥当性を示すこと。

➤ 作業スケジュールについて

- ✓ 大型廃棄物保管庫の全体での作業スケジュールについては、改めて説明すること。

6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の揚重設備及び架台設置に係る実施計画の変更について
大型廃棄物保管庫橋形クレーンの耐震性についての計算書（案）

以上